

公式戦（愛知県FA3種委員会、クラブ連盟及び各地区委員会が主管する大会）における
新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対策（参加チーム向け）について（2022年度②）

更新日 2022年11月8日

日頃より本協会並びに本委員会の活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。10月12日付で「JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン第12版」が発出されました。「ウィズ・コロナ」の生活が浸透し、サッカー活動に対する制限も少なくなってきましたが、新型コロナウイルス感染者数が再び増加の兆しもあり依然として感染防止対策が必要な状況です。以下に主な対策内容をまとめましたが、ガイドラインにて詳細をご確認いただき、チーム運営や大会運営へのご対応をお願いいたします。

「JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン第12版」 https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html

I 感染対策

【全般】

- ・チームは必ず感染対策責任者（以下、責任者）を設置する。
 - ・試合当日責任者が参加できない場合は、試合当日のスタッフの中から責任者を定める。
（「選手・スタッフ健康チェック表」への記名、及び「メンバー表」のスタッフ氏名を○で囲む）
 - ・責任者は常に選手・スタッフの健康状態を把握しておく。（集合時に体温測定、チェック項目の確認）
 - ・選手の試合出場（当日の活動への参加）に際して、試合当日保護者の承認を得る。
 - ・責任者は、試合当日の「参加チーム用新型コロナウイルス対応チェックリスト」を作成し、保管しておく。また、「健康チェックシート・個人」（※参加チーム（選手用）、2週間以上前から記録が必要）を選手に記録・提出させ、上記「チェックリスト」とともに、少なくとも1ヶ月間保管しておく。
- ※「健康チェックシート・個人」で以下のいずれかに該当する場合は、新型コロナウイルスに感染していないと医師が診断したり検査等で明らかになったりした場合、または下記③④の場合に試合に出場、参加することができる。
- ①<大会当日までの体温>に発熱が記録されている場合
 - ②<大会前2週間における健康状態>にチェックが付かない場合
 - ③大会2週間前からの健康状態において発症・症状消失が認められ、発症日から7日間が経過し、かつ症状軽快後24時間経過している
 - ④無症状で5日目に抗原検査により陰性が確認された翌日
- ・県協会からの指示または報告する場合等の対応は、大会感染対策責任者（要項に記載）が対応に当たる。
 - ・チームスタッフは会場責任者（または試合責任者）に遵守事項等を確認し、必ずチーム関係者（選手、保護者、応援者等）に徹底させる。

【試合前】

- ・試合当日参加する関係者は全員マスク着用を推奨する。ただし、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスク着用の必要がない。
- ・責任者は試合当日「メンバー表 兼 選手・スタッフ健康チェック表」を会場責任者または試合責任者に提出する。（提出がない場合、記載に不備がある場合は、試合への参加を認めないことがある）
- ・健康状態に異常が認められる選手・スタッフは、活動に参加しない。
- ・事前に用具等の消毒をしておく。

- ・ボトル、タオル等は共用しない。
- ・着替え等は必ずソーシャルディスタンスを意識して素早く行う。
- ・試合前のミーティングは距離が確保できない中で会話を行う場合のみマスクを着用する。

【試合中】

- ・握手セレモニーは実施しないが、相手チーム、審判団との交流ではグータッチを推奨する。
- ・試合前のチーム集合写真撮影について制限しない。
- ・ピッチ上での円陣について制限しない。
- ・ハイタッチ、抱擁等、プレー以外の不要な接触を避ける。
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐くなどをしない。
- ・口に含んだ水を吐かない。
- ・クーラーボックスを使用する場合は、担当者を特定し、それ以外の不特定多数の人がクーラーボックス本体およびその中の飲水ボトルや氷に直接触れない。
- ・ベンチで距離が確保できない中で会話を行う場合のみマスクを着用する。テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい。

【試合中の飲水について】

- ・ **新型コロナウイルス感染症対策としての「飲水タイム」は原則として実施しない。**
- ・ 原則飲水ボトルの共用を避ける。
- ・ ペットボトルでのピッチレベル設置使用可（但し、スクイズボトルタイプのキャップに交換する）但し、使用したペットボトルは必ず破棄すること。

【ハーフタイム】

- ・ ミーティングは距離が確保できない中で会話を行う場合のみマスクを着用する。

【試合終了後】

- ・ 試合終了後の両チームベンチへの挨拶を制限しない。
- ・ セレモニーを行う場合は、両チーム及び審判員は握手を行わず、グータッチを推奨する。
- ・ ベンチ入れ替え時にベンチシート等を拭き取らなくてもよい。
- ・ 試合終了後は手洗いを徹底する。
- ・ 密にならないように着替えを素早く済ませ、寄り道をせずに、早く帰宅する。
- ・ 帰宅後は手洗いうがいを徹底し、体温を測り記録をしておく。
- ・ 責任者は、選手等に異常や変化等が確認された場合に、速やかに本大会感染対策責任者（要項に記載）まで報告をすること。

【観戦等】

- ・ 保護者および登録外選手等の観戦については会場の指示に従う。
- ・ 観戦する場合はマスクを着用し、ソーシャルディスタンス（2m）を保つ。
- ・ 大声での応援は行わない。また、ハイタッチや抱擁等を控え、拍手による応援にとどめる。
- ・ 保護者の喫煙は厳禁とする。喫煙する場合は、認められた敷地内で窓を閉めて車の中で行う。
- ・ ごみはすべて個人で持ち帰る。

II 選手およびチーム関係者の感染またはその疑いへの対応について

【チーム活動について】

- ・チーム活動への参加については、自治体や保健所、学校等の指示に従う。
- ・チーム指導者による選手の状況把握や管理、該当選手の活動参加を見合わせる等、良識のある対応をとる。
- ・選手や保護者の意向を尊重し、活動への参加を無理に求めない。また、チーム内に強制的な参加を求める雰囲気生まれないように十分配慮する。
- ・感染状況等で生じる活動差をもって選手を不当に扱うことはなく、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷の発生を許容しない。

【公式戦全般】

- ・休校や学級閉鎖による自宅待機等の指示を受けている選手については自治体や保健所、学校等の指示に従う。
- ・「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」期間後は、選手のコンディションを考慮し、十分な準備期間を設けた上で試合日を決定する。

【リーグ戦】

- ・リーグ戦については、出場できない選手によって試合実施が困難な場合は、その試合を延期し、後日同カードを消化する。
- ・原則として、GKを含めて登録選手が11人以上出場できる場合はリーグ戦を実施する。
- ・県リーグについては、延期せざるを得なくなった場合、判明した段階で速やかにブロック長に連絡し、対戦予定チームとも相談の上、延期を決定する。
その際、延期の起因となったチームは、予定されていた試合会場の運営に可能な限り協力する。また、その後の代替日程(会場確保、審判割り当て等)について、当該チームはブロック長と協力しながら調整にあたる。
- ・後の日程が過密になったり、未消化になったりしないように代替日を設定し、できるだけ速やかに試合を消化するように努める。
- ・最終的に試合を消化できなかった場合は、延期の起因となったチームの不戦敗(0-3)とする。
- ・地区リーグについては、各地区にて実情に応じた対応を決定し、基本的な対処方針を示す。

【トーナメント戦】

- ・トーナメント戦については、当該チームの出場辞退とし、相手チームを不戦勝による次回戦出場とする。

【その他】

- ・上記について、大会運営者は監督会議等で事前に説明するなど、参加チームの共通理解を図っておく。
- ・大会要項に規定されていない事項については、大会要項に記載された大会運営役員において協議の上決定する。

以上